

【 外来種(植物)駆除活動 】

湿原の生態系を維持するため、外来植物を手作業で根ごと抜き取る作業を行っています。

2016年度は、8月7日に実施し、当社社員や家族を含む88名のボランティアの方々に参加いただきました。

また、作業終了後には、参加者を対象とした自然観察会を開催しました。



外来種駆除活動



自然観察会

【 ミヤマキリシマの保護、登山道整備活動 】

ミヤマキリシマ(大分県準絶滅危惧種)の植生に支障となる木(ノリウツギ等)を伐採し、生物多様性を保全するための活動を実施しています。

また、山の草花が踏み荒らされたりしないよう登山道の整備も行っています。

2016年度は、11月3日に実施し、当社社員やOBを含む73名のボランティアの方々に参加いただきました。



支障木の伐採



登山道の整備

2. 次世代へのエネルギー・環境教育の展開

「九電みらいの学校」*の一環として、エネルギー・環境への関心を育む活動を、九州各地で展開しています。

*:エネルギー・環境教育をはじめ、文化・芸術・スポーツの分野において、様々な活動を行う次世代支援プロジェクト。



詳細は [九州電力](#)

> 関連・詳細情報 (P2参照) > 九電みらいの学校

エコ・マザーによる環境教育支援

子どもたちへの環境教育支援と保護者の皆さまへの環境情報の提供を目的とする「エコ・マザー活動」に取り組んでいます。

この活動では、九州各地で地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境紙芝居の読み聞かせ等を行い、小さなお子さまに環境への配慮の大切さを伝えています。

2016年度は253回、20,084名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

なお、これまでの14年間で、約3,400回実施し、約24万名の皆さまにご参加いただいています。



エコ・マザー活動の様子



詳細は [九州電力](#)

> 関連・詳細情報 (P2参照) > エコ・マザー活動

用語集をご覧ください

- 絶滅危惧種
- エネルギー・環境教育

社外ステークホルダーのご意見

電力について、もう少し子どもたちに伝わるイベントや出前授業を増やして欲しい

➡ P.36 次世代へのエネルギー・環境教育の展開

➡ P.37 小・中学校等での出前授業

小・中学校等での出前授業

エネルギー・環境問題などについて、楽しみながら学んでもらうことを目的に、九州各地で出前授業を実施しています。2016年度は、小・中学校等で479回の出前授業を実施し、約19,000名の子どもたちとエネルギーや環境について考えました。



出前授業の様子



私の環境アクション

子どもたちの歓声にやりがいを感じました！

奄美配電事業所
託送業務グループ
さとう しょうへい
佐藤 昭平



2017年2月、鹿児島県大島郡龍郷町立円小学校にて、全校児童7名を対象に、「電気と省エネを勉強しよう!」をテーマに掲げ、出前授業を行いました。

私にとって2度目となる出前授業の講師でしたが、対象となる児童が2年生から6年生までと年齢差が大きかったことから、低学年の児童にも理解できるような説明を行うことに苦慮しました。

子どもたちは、授業が始まる前から、机に置かれた実験器具に興味津々の様子で、授業が始まってからも積極的な質問が飛び交いました。

その純粋な眼差しや実験結果に対する大きなアクションを見るたびに、授業の準備やリハーサルの苦労が喜びに変わりました。

今後も、エネルギーや環境に興味を抱いてもらえるような取り組みを積極的に実施していきたいと思えます。

3. 九州ふるさとの森づくり

15年間実施してきた「九州ふるさとの森づくり」

「九州ふるさとの森づくり」は、2001年度から取り組んでいる植樹や育林活動*で、低炭素社会の実現や生物多様性の保全を目的として九州各地で実施してきました。

2015年度でこの取り組みは一旦終了することとなりました。これまでの15年間で延べ642箇所、約117万本もの苗木を植樹し、約15万人の方々にご参加いただきました。

*植樹した苗木の成長を助けるため、植樹後3年程度、苗木の周りの下草刈りを行う活動。



詳細は [九州電力](#)

> 関連・詳細情報 (P2参照) > 九州ふるさとの森づくり



2001年の植林の様子(大分県日田市)

10年後



10年後の植林地点の様子

用語集をご覧ください

- 低炭素社会
- 生物多様性